

製品名: MYST1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80597**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	MYST1
別名	MOF; KAT8; hMOF
遺伝子 ID	84148.0
SwissProt ID	Q9H7Z6
免疫原	大腸菌で発現したヒト MYST1 の精製された組み換え断片。

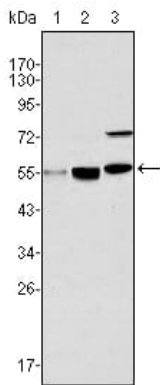
背景

MYST1 (MYST ヒストンアセチルトランスフェラーゼ 1、MOF) は、細胞内で転写調節に利用されるヒストンアセチルトランスフェラーゼの MYST ファミリーに属します。MYST ファミリーには、創設メンバーである MOZ、酵母 YBF2 および SAS2、そして TIP60

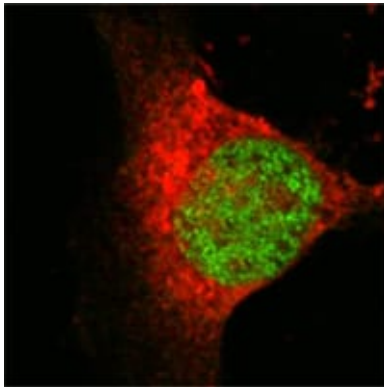
にちなんで名付けられた MYST1 が含まれます。このファミリーのすべてのメンバーは、標準的なアセチル CoA 結合部位と C2HC 型ジンクフィンガーモチーフを含む約 240 アミノ酸からなる MYST 領域を含んでいます。ほとんどの MYST タンパク質は、タンパク質間相互作用に関与し、転写調節因子をクロマチンに標的化するクロモドメインも持っています。MOF は男性と女性の両方で発現しますが、X 染色体と関連しているのは男性のみです。MOF には、ヌクレオソームの球状部分とヒストン H4 との接触に使用されるジンクフィンガードメインが含まれています。ヒト MOF のカルボキシ末端ドメインは、ヒストン H3 および H2A に対するヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性も有しており、これは他の MYST ファミリーヒストンと共通する特徴である。

研究分野

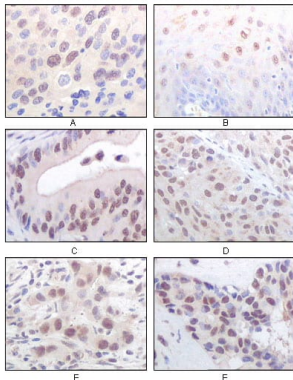
画像データ



Hela (1)、HepG2 (2)、および SMMC-7721 (3) 細胞溶解物に対する MYST1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



MOF/MYST1 マウス mAb (緑) を使用した Eca 109 細胞の共焦点免疫蛍光分析。核局在を示しています。



パラフィン包埋ヒト食道扁平上皮癌 (A)、正常食道上皮 (B)、直腸腺癌 (C)、肺扁平上皮癌 (D)、乳房浸潤癌 (E)、乳房浸潤癌 (F) 組織の免疫組織化学分析。MOF/MYST1 マウス mAb を用いた DAB 染色による核局在を示しています。

